

保護者様

勝浦市立勝浦小学校
校長 原田 齊

アンケート調査の集計結果（第2回）について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、学校教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました保護者の皆様のアンケート、児童のアンケート、教職員による自己評価を集計した結果と今後の改善点についてお知らせします。

また、学校評価の客観性・透明性を高めるために、地域住民の代表の方々や愛育会役員による学校関係者評価委員より、集計結果について提言をいただきましたので、併せてお知らせします。

なお、項目は保護者・児童・教職員の評価結果から、今年度の重点課題に関連するものを選んで、比較したものです。また、数値については「とてもそう思う」「すこしそう思う」を含めた数値です。

【保護者・児童・教職員の三者の比較から】

1 進んで学ぶ、かしこい子の育成のために

重 点 項 目	保護者	児 童	教職員
子どもは、授業に意欲的に望んでいる。	92%	89%	100%
子どもは、「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している。	89%	91%	70%
子どもは、進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。	69%	94%	94%
子どもは、よく読書をしている。	45%	84%	90%
子どもは、家庭学習でeライブラリを活用したことがある。	31%	91%	68%

結果の要点

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

（保護者） ○学習への意欲、内容への理解についての数値は高い。

▲読書への取組についての評価が低い。

▲eライブラリの活用についての評価が低い。

（児 童） ○どの項目も80%以上の肯定的評価をしている。

（教職員） ○宿題等、家庭学習への取組についての数値は高い。

▲学習内容の理解及びeライブラリへの取組については、課題を感じている。



【今後の改善点】

☆ 基礎的な学習内容の定着も含めた学力の向上に向けて、個々の児童への支援の在り方について、引き続き、児童・保護者・教職員で連携して向上を図っていきます。

☆ 学校での読書に取り組む様子について、家庭への発信を強めていきます。

☆ eライブラリの効果的な勉強法について、家庭教育学級等で配信しましたが、引き続き、家庭学習での活用のしかたを含めて紹介していきます。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	児 童	教職員
子どもは、日々の生活の中で、爽やかにあいさつしている。	80%	93%	90%
子どもは、ありがとう、じょうずだねなどのぽかぽか言葉を使っている。	81%	93%	100%
子どもは、勝浦の伝統や文化、自然に愛着をもっている。	73%	93%	68%
子どもは、学校でのできごとや友達のことをよく話してくれる。	86%	78%	90%
子どもは、悩みを家族や先生等の大人に相談している。	82%	98%	90%

結果の要点

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

- (保護者) ○友だちとの関わりについての数値は高い。
 ▲地域を知ることや愛着については、もう一歩だと感じている。
- (児 童) ○周囲への挨拶や感謝、勝浦への愛着では、高い肯定的評価をしている。
- (教職員) ○子どもとのコミュニケーション、相談への対応についての評価は高い。
 ▲地域に関連する取組については、十分に行えていないと課題を感じている。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ☆ 努力した点をより細かく拾い上げ、児童の自己肯定感を高め、さらに周囲への思いやりややさしさにつなげていく支援をしていきます。
- ☆ 郷土を愛し、その発展に寄与する心情を育てていけるよう、地域の歴史や地域を支えてきた人々などに関する学習をおこなう機会をコロナ禍であっても工夫しておこなっていきたいと思います。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	児 童	教職員
子どもは、睡眠、朝食、洗顔、歯磨きなど健康に気を付けて生活している。	96%	93%	100%
子どもは、運動に親しみ、体力の向上を目指して取り組んでいる。	91%	88%	90%
子どもは、やるべきことに頑張って取り組んでいる。	99%	96%	95%

結果の要点

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

- (保護者) ○どの項目も90%以上の肯定的評価をしている。
- (児 童) ○どの項目も85%以上の肯定的評価をしている。
- (教職員) ○どの項目も90%以上の肯定的評価をしている。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ☆ コロナ禍にあっても、引き続き、感染防止対策や熱中症対策を充分講じながら、毎日の教育活動の中に運動をおこなう場面（体育、カッキーン活動、昼休み等）を位置づけ、体力の向上を図っていきます。

【保護者の学校評価と教職員の自己評価について】

4 「地域とともに歩む学校づくり」のために

評 価 項 目	保護者	教職員
学校は、平素の教育活動を学校だより、学年だより、ホームページ、学校公開等を通して積極的に伝えている。	94%	79%
学校は、家庭・地域と連携し、児童に交通指導や避難訓練、防犯教室等で安全意識を高めている。	96%	94%
学校は、学校評価や保護者、地域の意見・要望を教育活動に生かしている。	91%	94%

結果の要点

※「教職員」→取組に対する自己評価を含む

（保護者） ○どの項目も90%以上の肯定的評価をしている。

（教職員） ○児童の学校生活での様子について、積極的に家庭に発信している。
○防犯、安全に対する家庭、地域との連携・協力体制がよく取れている。

▲コロナ禍で学校公開等の実施に制限があったこと等から数値が下がっている。



【今後の改善点】

☆ コロナ禍にあっても、活動を工夫しながら、引き続き、児童の様子や学校での取り組みについて、分かりやすく発信し、家庭・地域の理解を得ながら連携を深めていきます。

【学校関係者評価委員の方々からの主な提言】

- 新型コロナウイルスへの対応は、長い戦いで苦労は多いが、引き続き、子どもや家庭のために学校での対策はしっかりとおこなってほしい。
- コロナ感染拡大の中、保護者から概ね学校に対してコロナ対応に対する感謝の意が表れていたもので、その対応が学校への信頼につながっていると思う。
- 八街市の事故を受け、歩道等が整備されていない場所での登下校の安全確保をどのように確保していくかこれからの課題である。
- 子どもの言葉が荒くなっているとの指摘があったが、本来「しつけ」の基本は家庭が主であることを考慮しながら、家庭と学校とが連携していくことが望ましい。
- eライブラリ学習について、肯定的な評価が向上しており、コロナ感染が続く中、より一層ICT機器の活用をおこなってほしい。
- 引き続き、勝浦市民として、郷土を愛する心、誇りを持つ心を育てる教育にもしっかりと力を入れてほしい。
- 保護者の方々から様々な意見をいただいている。中には厳しいものもあるが、引き続き、学校の考えや取り組みを丁寧に説明していくことが大切である。

※学校関係者評価委員の方々からいただいた提言について、今後も、保護者の方々と連携・協力して進めていきます。

【意見・要望】（保護者の皆様からの意見・要望と学校の今後の取り組み等について）

保護者の方からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
ゲーム、テレビ、ユーチューブ等の言葉の使い方が気になる。親の知らない所でかなりひどいことを言っているのを見る。言葉の暴力として家では伝えているが、友達同士で会うと（暴力的な言葉が）簡単に出ているのが気になる。	確かに、今の子どもたちの言葉遣いや行動は動画サイトの影響が大きいと感じることがあります。良い面、悪い面それぞれがあるかと思いますが、悪い影響があると判断した動画の視聴は、ご家庭で制限することが大切だと思います。学校の方でも情報モラル教育や道徳教育等を通して、子どもたちへの指導を強化していきたいと思っています。
子どもが喜んで残さず食べられるような献立をお願いしたい。	さまざまな栄養のバランス等を考えながら子どもたちがおいしく給食を食べられるようにと栄養教諭を中心に毎月工夫して献立をつくっています。また、給食センターでは毎日の残菜の様子を確認し、栄養やコストを考えながら、よりおいしい給食づくりに、日々励んでおりますので、ご理解をお願いできればと思います。
家では、あまり静かな時間や環境がなく読書の時間をなかなか作れないので、学校でもう少し読書の時間を増やしてもらえるとありがたい。	学校でも「読書」は非常に大切なものだと思っています。そこで「読書の本」というポスターを作成し、そこに一人一人が読んだ本の冊数を果実で表したものを掲示する取り組みをおこなっています。その果実が増えていくことに喜びを感じながら読書に励む子どもたちもたくさんいますので、今後、その様子等をご家庭にお伝えする機会を増やしていけたらと考えています。
給食着は各自のものにしていきたい。	コロナ禍を念頭にしたご意見だと思います。ぜひ、各自所有の形を検討していきたいと思っています。
テストをおこなったらその都度返却していただきたい。	ご指摘の通り、児童の記憶が鮮明なうちにテスト返却をし、確認をおこなうことで教育効果も高まると考えますので、適切なタイミングで返却できるよう心がけたいと思っています。
授業が進まずにかけ算や漢字ができないまま進級してしまうか不安です。	コロナによる休校等の影響もありますが、各教科ごとの年間指導計画の進度にできるだけ遅れが出ないように学校全体で取り組んでいきたいと思っています。
子どもたちの普段の姿が分からないので、時々zoomなどを使って授業のようすがみられるとうれしいです。検討してください。	コロナ禍がいまだ収束しない状況の中、ご指摘のＩＣＴ機器の活用は学校としても急務だと考えています。そこで、児童の状況に応じて、自宅へのオンライン配信（Teamsを活用）をおこなう取り組みを始めています。テスト配信については、全学年でほぼ済みましたので、今後更なる活用法を模索していきたいと考えています。

保護者の方からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
八街市での事故を受けて、交通安全について、登校時は、ボランティアの方々などもたくさんいてくれるので安心ですが、下校時は学年毎なので少し心配です。	7月末に保護者の方よりご指摘のあった「通学路の危険箇所」について、行政機関等と現場確認をして対応策を協議し、その後グリーンベルトや標識の設置等、危険箇所の改善を徐々に進めてもらっていますが、今後も危険が予想される場所について情報をいただけたらと思います。また、危険回避等の児童の安全指導についても適宜おこない、安全面の強化に努めていきたいと思っています。
下校時、子どもたちが予定より早く学校を出てしまうと迎えが間に合わない時があるため、予定の時刻で下校させていただくと助かります。	時間通りにと心がけてはいるものの、様々な対応事項が生じて時間が前後してしまうことがあり、大変ご迷惑をおかけしています。今後、特に「時間前になるケース」については、更に注意をしていきたいと思っています。
台風、雨風が強い時は放課後ルームに行かず、学校に兄弟そろって待っていることが望ましいのでお願いしたい。	自然災害で学校から放課後ルームまでの移動の安全が確保できないと判断した場合は学校に待機させていますが、変更の申し出がない場合は原則、放課後ルームに下校させています。ご家庭ごとに様々な状況がありますので、朝、あるいは緊急時の下校前に「兄弟ごとにこのような下校先にしたい」との連絡をいただくことで、ご指摘の対応ができるかと思っています。
習字で使った筆は、学校で洗い乾かせば良いのではないのでしょうか。準備から片付けまでが一連の大切な流れだと思います。	習字において、ご指摘にあるように一連の流れが教育的にとっても大切なことだとは承知しながらも、文字を書く時間の確保に重きをおいて授業をおこなっている現状があります。その背景の一つとして、現在、学校ではコロナ禍により、流しの利用を制限をしている状況があり、他の教科においても様々な制限が生じ、重きを置く所とカットする所を取捨選択したり、試行錯誤をしながら、時には苦渋の判断をして教育活動に取り組んでいる部分があります。そのような中ですが、工夫の余地はまだあると思いますので、今後ともご指摘・ご助言いただければ幸いです。
習い事の送迎のため、部活終了を体育館前で待っていると、複数の教師より校内まで車であがって来てはいけないのという話し声が聞こえて嫌な思いをした。保護者に対して挨拶もなかった。	校内への保護者の車の乗り入れは、病気やけがによる送迎以外は子どもたちの安全確保の面から原則お断りしています。各種習い事のための送迎を認めてしまうと、ほぼ校内乗り入れが自由ということになります。どうかご理解の程よろしく願いいたします。挨拶のご指摘につきましては、不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。日頃、子どもたちには「誰に対してもしっかりと挨拶ができる人になりなさい」と話をしておりますが、その言葉に恥じぬような、また誤解を与えることのないような行動を改めて職員一同心がけていきたいと思っています。

保護者の方からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
宿題以外の教科書は、学校に置いておく形にできないでしょうか。	現状、学年ごとに若干の違いはありますが、多くの教科で教科書・ノートはロッカー等にしまい、持ち帰りはしないでもよい形になっています。再度状況を確認して、荷物の重さによる負担等もよく考えながら対応をしていきたいと思っています。
w i t h コロナの時代に「皆勤賞」は必要でしょうか。	ご指摘にあるように、コロナ禍において従前の価値観は見直すべき点も出てきているように思います。これまでの「皆勤賞」という形はなくす方向で、新たな適切な形を模索していきたいと思っています。

【保護者の方からの感想】

悪天候時の登下校についての注意喚起や時間をずらすなどの対応をメールで送ってくださるのがありがたいと思っています。
学校が毎日楽しそうで苦手なことにチャレンジした後の達成感も感じられるようで感謝しております。
運動会では、無観客から1名見学及びz o o m配信となりありがたかったです。
コロナの感染が確認されてからの学校側の対応、対策のおかげで最小限に感染を抑えられたこと、本当に感謝しております。(同様の文面2通)
コロナに負けず、子どもたちの気持ちや考えを尊重し、かつ保護者の気持ちも考えていただき、また休校の際の先生方のいろいろな想いや工夫、本当に有難うございました。(同様の文面2通)
担任の先生に相談したことは、即対応してもらえて話もきちんと理解してもらえて満足しております。学校・家庭の連携がとても大切で必要なことが高学年に入り、特に強く感じております。
運動会をはじめ修学旅行に行けてとても喜んでおりました。コロナ禍の中、一生懸命学校行事に取り組んでいただき有難うございました。(同様の文面3通)
郷土を愛する健康でたくましい子どもたちが、学校・地域ですくすく育っています。
いつもありがとうございます。(同様の文面11通)